



ともにきらめく

県立五泉特別支援学校は
「いじめ」を絶対に許しません！
「いじめ」を絶対に見逃しません！



新潟県立五泉特別支援学校 学校便り
第1号 令和2年5月21日発行

久しぶりの明るい声 元気な笑顔 そして学校再開へ

学 校 長 大竹 嘉則

今だかつて経験のない新年度のスタートとなりました。三密を避けた形での入学式で新生を迎え、これから授業を本格的に実施と思った矢先、二度目の臨時休業となってしまいました。入学、進級で期待に胸を膨らませていた児童生徒の皆さんにとっては、全く予期しない事態で、困惑した日々が続いたのではないかと思います。また本当に長い期間、保護者の皆様には多大なるご協力をいただき、心苦しい気持ちとともに深く感謝申し上げます。

臨時休業の中、5月11日からの登校日で、久しぶりに学部毎に子供たちと再開をいたしました。静まり返った学校に明るい声が聞こえ、たくさんの笑顔を見ることができ、ひとまず安堵いたしました。そして、この度、県立学校再開の方針が出されました。部分再開を経て6月1日からは、待ちに待った学校の全面再開です。

在校生の皆さんは、年度の途中からの再開で、いつもの学校のイメージと食い違うことがあるかもしれません。予定していた行事も中止になったり延期になったりして、期待していたことができなくなるかもしれません。また、新入生の皆さんは、これから出会う初めてのお勉強に少しずつ慣れていかなければなりません。

このように、久しぶりの学校再開に際しては、感染症対策に配慮することはもちろんのこと、児童生徒の皆さんの不安な気持ちに寄り添うことを大事にしていきたいと考えております。

そして、このような状況となった今年度、児童生徒の皆さんが少しでも元気に学校生活を送れるよう、次のことを重点に指導・支援に当たりたいと考えております。

やりとりの楽しさが味わえる機会を増やす この重点のとおり、学校ではいつも以上に、児童生徒の皆さんと楽しくコミュニケーションをとったり関わったりしながら、学習に取り組んでいきたいと思っております。

保護者の皆様には、様々な面で例年通りとはいかないことがあり、今後ご迷惑をお掛けいたしますが、次ページに掲載しました職員一同一生懸命指導・支援を行ってまいりますので、何とぞご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

令和2年度職員のご紹介

小学部

*印は今年度の転入職員です。



中学部



高等部



大学部



子どもたちのきらめく授業の様子をご紹介します。

授業の「窓」

新年度がスタートして2ヶ月が経ちました。残念ながら、学校は休校の日々が続きましたが、入学・始業からの学習の様子をお伝えします。子どもたちは、新しい仲間や教師に、初めはドキドキした表情を浮かべていましたが、次第に笑顔も多くなってきました。

保護者の皆様のご協力に感謝いたします。



小学部の「窓」

今年度、小学部には6名の1年生が入学し、全部で26名になりました。環境が変わりましたが、すぐに慣れていろいろな活動にチャレンジしています。

「はっするタイム」は小学部のみんなで一緒に思い切り体を動かす学習です。音楽によってダンスをした後は、走ったりジャンプをしたり。すると、元気がもりもりわいてきて心も体もぽかぽかです。
(文責：小学部主事 小林)



中学部の「窓」

中学部には元気のいい5名の1年生が入学し、2年生7名、3年生7名の合計19名でスタートしました。「仲間になろう！」を目指し、新入生歓迎会では自己紹介をしたり、各学年が混ざって歌やダンス、劇を披露したりしました。

学習時間だけでなく、休み時間にも積極的にかかわり合って遊ぶ姿が見られ、笑顔がいっぱいの中学部です。

(文責：中学部主事 坂井)

高等部の「窓」

高等部は12名の新入生を迎え、生徒36名、職員16名でスタートしました。2、3年生は上級生として後輩の手本となるような行動を心掛け、1年生は様々なガイダンスや体験、先輩の助言を受けて、高等部の生活に少しずつ慣れてきました。

「なりたい自分をめざしてレッツチャレンジ」をモットーに高等部一同、今年も頑張ります。

(文責：高等部主事 菊池)

